

令和7年度事業報告

本会は、全国の地先沿岸海域において発生する船舶海難や海浜事故の救助活動をボランティアで展開するために、全国各地に設立されている民間の地方水難救済組織を統括的に支援する公益社団法人であり、地方水難救済組織による水難救済事業をはじめとする各種事業の活性化及び事業執行体制の基盤整備を支援している。

また、洋上の船舶において発生した傷病者を対象とする救急医療サービスを提供するために海運・漁業・医療等の民間関係団体や海上保安庁等の海難救助関係機関の連携協力によって導入された世界唯一の洋上救急体制の維持運営を推進している。

I 実施した事業の概要

本会では、最近の水難事故や自然災害の発生時における公的機関や民間組織による対応体制の実情などを勘案し、公的関係機関による水難救助活動や災害救援活動を補完するため、地方水難救済組織によるボランティアでの水難救済活動や災害救援活動を支援し、かつ、その充実強化を図っている。

また、海上保安庁をはじめとする関係機関や民間団体等の支援を得ながら、全国各地における洋上救急体制を維持運営している。

これらの目的のため、令和7年度は次のような各種事業を実施した。

・水難救済に関する事業

水難救済活動（災害発生時における救援活動を含む。）に参画する団体、又は個人に対する支援（研修・訓練を含む。）に関する事業

・洋上救急に関する事業

洋上の船舶等で重篤な傷病者が発生した際の医師・看護師等の派遣による洋上救急医療体制の維持運営に関する事業

・水難救済思想の普及啓発に関する事業

広く国民を対象とした水難救済思想の普及啓発に関する事業

・青い羽根募金に関する事業

全国各地の地方水難救済会に所属するボランティア救助員による水難救済活動に使用する救難資器材の整備等に必要な資金を確保するための募金事業

以上のほか、地先沿岸海域における搜索救助の拠点となる救難所等の整備をはじめ、ボランティア救助員の増強や若返りのためのリクルート、地方組織の法人化等の事業推進基盤の強化を支援するとともに救難所員等の扶助・補償等を行う

ことにより、事業執行体制の充実整備と地方組織の活性化を図っている。

また、自然災害発生時には積極的に救援活動を行うとともに、国・地方自治体等が主催する災害対応訓練に積極的に参加することにより、地方水難救済会による役割の重要性について関係者の理解を深めてもらい、国と地方自治体からの活動支援を得るべく努めている。

II 事業執行体制の充実整備と地方組織の活性化のための具体策

1 地方組織の活性化の推進

本会では、組織の活性化、組織の健全化を目的とした組織改変整備を進めているが、最近の海難の発生・救助状況を踏まえ、全国規模でのボランティア海難救助を効果的に推進するため、従前からの漁船海難等の海難救助を主たる対象とした救難拠点のみならず、各種マリレジャー等に伴う遭難事故を対象とした救難拠点整備を積極的に進めている。

(1) 令和7年度に新設された救難所等

設置年月日	水救会名	救難所名	支所名
令和7年5月11日	神奈川県	藤沢	
令和7年8月3日	琉球	名嘉真・希望ヶ丘ビーチ	
令和7年9月1日	兵庫県	あわじ北	
令和8年1月21日	山口県	青海島観光汽船(株)	
令和8年3月2日	香川県	白方	
合計		5か所(5か所)	0か所(2か所)

注) ()書きは令和6年度末現在

- ① (特)神奈川県水難救済会は、県下で救難所がなかったのは藤沢市のみでありこれまで救助には時間を要していたことから今後周辺海域で発生する水難事故に対処するため、新たに救難所を設置。
- ② (公社)琉球水難救済会は、恩納村周辺海域で発生する水難事故に対処するため、新たに海洋レジャー事業を営む「Blue Quest OKINAWA」内に救難所を設置。
- ③ 兵庫県水難救済会は、2011年から安全啓発活動を行っていたボランティア団体「ブルーラインあわじ」を水難事故に対処するため、新たに店舗「ブルーラインあわじ」内に救難所を設置。
- ④ 山口県水難救済会は、長門市先崎周辺海域において海難事故発生時に迅速な活動が行えるように新たに青海島観光汽船(株)内に救難所を設置。
- ⑤ 香川県水難救済会は、支所の組織再編に伴い、白方支所を新たに救難所に昇格。

(2) 令和7年度に廃止された救難所等

廃止年月日	水救会名	救難所名	支所名
令和7年4月18日	愛知県	(伊勢湾東部地区海難救助連絡協議会)	東海遊船組合
〃	〃	(伊勢湾東部地区海難救助連絡協議会)	愛南遊船組合
令和7年7月7日	愛媛県	川之江	
令和7年9月10日	大阪府	(堺地区)	丸高渡船堀

令和 8 年 3 月 2 日	香川県	(多度津)	白方
令和 8 年 3 月 31 日	香川県	(多度津)	高見
合計		1 か所(2 か所)	5 か所(6 か所))

注) () 書きは令和 6 年度末現在

- ① 愛知県水難救済会の東海遊船組合支所及び愛南遊船組合支所の廃止は、伊勢湾東部地区海難救助連絡協議会からの退会によるもの。
- ② 愛媛県水難救済会の川之江救難所は、会費滞納により愛知県水難救済会会則に基づき廃止としたもの。
- ③ 大阪府水難救済会の丸高渡船堀支所の廃止は、丸高渡船廃業によるもの。
- ④ 香川県水難救済会の白方支所は、救難所として新設のため廃止とし、高見支所については組織再編により廃止としたもの。

(3) 令和 7 年度に名称変更された救難所等

変更年月日	水救会名	旧名称	新名称
該当なし			
計		0 か所(12 か所)	

注) () 書きは令和 6 年度末現在

(4) 令和 7 年度末現在の救難所及び支所の数

救難所 798 箇所(794 箇所)
支 所 524 箇所(529 箇所)

注) () 書きは令和 6 年度末現在

(5) 令和 7 年度末現在のボランティア救助員の数

47,985 名(48,368 名)

注) () 書きは令和 6 年度末現在

2 水難救済に関する事業

令和 7 年における救助出動件数は 318(321)件で、延べ 349(345)か所の救難所等から延べ 2,361(2,264)名の救難所員及び協力者 495(429)名が出動し、397(320)名の遭難者と 155(117)隻の船舶を救助しており、救助した船体及び積荷の見積評価額は約 1 億 1 千万円(約 1 億 8 千万円)であった。

また、救助出動に備え、ボランティア救助員に対する所要の訓練及び救難資機材の整備等を実施した。

(1) 救助実績(令和 7 年 12 月末現在)

(単位:人、隻、千円)

区分 種別	出動件数	救助人命	救助船舶		出動内容	
			救助隻数	船体積荷見積額	救難所員等	救助船舶等
船舶海難	165	318	155	105,285	1,715	660
人身事故	153	79			1,141	282
災害対応	0	0			0	0

合 計	3 1 8 (321)	3 9 7 (320)	1 5 5 (117)	1 0 5, 2 8 5 (176, 590)	2, 8 5 6 (2, 693)	9 4 2 (940)
-----	----------------	----------------	----------------	----------------------------	----------------------	----------------

注) ()書きは令和6年末の実績

注1) 海難救助及び出動実績総括表は附属明細書1のとおり

注2) 救難所別海難救助実績は附属明細書2のとおり

(2) 海難救助出動報奨金等の交付(令和8年3月末現在)

公益財団法人日本財団の助成金、日本漁船保険組合及び全国漁業協同組合連合会からの補助金等により、海難救助に出動した全国354(339)救難所等のボランティア救助員2,080(2,061)名及び783(652)隻の救助船所有救助員に対し、救助出動報奨金を交付した。

また、各救難所で実施された海難救助訓練で使用した延べ85(63)隻の船舶を所有するボランティア救助員に対し、訓練使用船舶支援金を交付した。

(単位:箇所、人、千円)

区 分	対象救難所等数	対象救難所員数	金額
救難所員報奨金		2, 0 8 0	1 0, 8 0 3
船舶報奨金		7 8 3	9, 7 9 9
合 計	3 5 4 (339)	2, 8 6 3 (2, 713)	2 0, 6 0 2 (14, 882)

注) ()書きは令和6年度の実績

(単位:箇所、人、千円)

区 分	対象救難所等数	対象救難所員数	金額
地方組織支援費・会議費	1 6 5		1, 2 8 4
人命救助訓練奨励金			1, 9 0 9
訓練使用船舶支援金		8 5	2 1 4
合 計	1 6 5 (113)	8 5 (63)	3, 4 0 7 (2, 059)

注) ()書きは令和6年度の実績

事業費総額 3 6, 2 2 1, 0 2 3 円(22, 9 8 7, 7 4 4 円)

(3) 海難救助訓練の実施

救難所員の出動時の安全確保、救難技術の向上及び士気の高揚を図り、かつ効果的な海難救助活動に資するため、海上保安部署等と連携して所員

に対し、救難用資器材の点検・取扱い要領及び心肺蘇生法等の基礎訓練並びに漂流者揚収訓練等の応用訓練等を実施した。

また、地震・津波災害等の発生に備え、国・地方自治体が主催する災害対応訓練へも積極的に参加することとしている。

本会では、これらの海難救助及び災害対応訓練に参加した地方水難救済会に対し、訓練の実施状況等を勘案し、会議費及び地方組織支援費を交付した。

なお、各地方水難救済会では、かかる活動を最大限実施しようという強い意志のもと、本年度は地方水難救済会 25(28)か所において海難救助訓練を実施した。

事業費総額 6, 201, 714円(5, 239, 844円)

[実地訓練等の実施状況]

区 分	実 地 訓 練	うち地方自治体との合同防災訓練
対象救難所等の数	165か所(131)	7か所(12)
参 加 人 数	2,392名(2,062)	98名(40)

注) ()書きは令和6年度の実績

(4) 人命救助訓練奨励金の交付

公益財団法人日本海事センター(旧日本海事財団)から交付された人命救助訓練奨励基金(1億円)の運用益等により、人命救助訓練に参加した救難所員 1,909(1,409)名に対し訓練奨励金を交付した。

事業費総額 6, 456, 144円(6, 158, 154円)

(5) 救難体制の整備

海難事故や自然災害への救助、支援要請に対し、迅速、かつ、的確に対応できる救助体制の充実を図るため、引き続き、老朽化した救難資器材の整備を次のとおり整備した。

事業費総額 15, 079, 809円(17, 571, 726円)

品 目	規 格	数 量
安全帽	水難救済会のマーク・名入り	43個(85)
救命胴衣(固定式)	NS-SLVI 又は NS-3Z-III	36着(134)

救命胴衣（膨張式）	NS-7000	0 着 (47)
救急セット	応急医療具 AB セット	1 4 式 (7)
救命浮環	NS-39 II	1 0 個 (25)
自動体外式除細動器（AED）	CR2 8 年保証	2 4 個 (6)
ゴムボート	WB-80	5 隻 (5)
消防兼排水ポンプ	トーハツ VE20A	0 台 (2)

注）（ ）書きは令和 6 年度の実績

（６）海難救助に功労のあった者等の表彰に関する事業

海難救助表彰を次のとおり実施した。

事業費総額 8, 6 7 6, 5 6 3 円(1 0, 2 2 4, 5 6 6 円)

<令和 7 年度表彰実績>

① 名誉総裁表彰

令和 7 年 6 月 1 2 日、名誉総裁高円宮妃殿下ご台臨のもと、名誉総裁表彰式典を挙行し、海難救助などに極めて抜群の功労あった団体について表彰を行った。

イ 海難救助功労	3 件（団体 3）（5 件）
ロ 洋上救急功労	1 件（団体 1）（1 件）
ハ 事業功労	3 件（個人 3）（1 件）

② 会長表彰

・海難救助功労

（ア）救助功労 9 件（個人 1、団体 8）（13 件）

（イ）救助出動回数功労 0 件（個人）（25 件）

（ウ）永年従事功労 3 4 件（個人）（34 件）

・洋上救急功労 2 件（個人）（6 件）

・事業功労 6 2 件（個人 1 9、団体 4 3）（53 件）

（参考）その他表彰事業費を使用した経費

洋上救急事業 6, 0 5 0 円(6 7 3, 2 0 0 円)

青い羽根募金事業 1 1 9, 5 6 6 円(1 3 0, 2 7 3 円)

注）（ ）書きは令和 6 年度の実績

3 洋上救急に関する事業

本事業に関する全国健康保険協会からの受託金のほか、公益財団法人 日本海事センター、その他海事・漁業関係団体からの助成金等及び拠出金並びに受益船

主からの負担金等を得て、洋上にある船舶内で緊急に医師による医療措置を必要とする傷病者が発生した場合、医師等の同乗する海上保安庁又は自衛隊の船艇・航空機を現場に急行させ、傷病者に対する救急医療を施しつつ、最寄りの病院まで緊急搬送するという洋上救急活動を実施するとともに、こうした洋上救急活動に出動する可能性のある医師等を対象とした慣熟訓練等を行った。

なお、令和7年度の洋上救急出動件数は16(20)件で、昭和60年10月洋上救急制度発足以来の累計件数は1,022件、救助人数は1,055人となった。

事業費総額 34,624,588円(31,951,328円)

4 水難救済思想の普及に関する事業

本会及び地方水難救済会が実施している各種水難救済事業について、各種広報媒体を活用し、海事・漁業関係者のみならず、広く一般国民の理解と協力の醸成、拡大を図るとともに、水難救助者その他海上安全に関係する他の民間関係団体等との連携強化を図りつつ、船舶海難や海浜事故の未然防止活動及び水難救助に関する知識技能の普及啓発に努め、沿岸海域における救難体制の充実強化を図った。

また、本事業の一環として、水難事故から身を守るための必要かつ最低限の知識と技能について整理し、効果的な教授方法を検討し、全国普及実践モデルの全体像を確立することを目的とし、日本財団主導のもと日本ライフセービング協会等と連携した「海のそなえ」プロジェクトを実施するとともに、併せて、報道機関を通じて広く国民に周知活動を行い、当会の認知度向上のための活動を積極的に行った。

① 地方水難救済会による海の安全教室の開催(令和7年度)

- ・開催箇所 9(9)か所
- ・開催教室数 32(39)教室
- ・受講者数 3,224(4,397)人

事業費総額 28,886,477円(24,411,514円)

5 青い羽根募金に関する事業

7月、8月の2ヶ月間を「青い羽根募金強調運動期間」として、国土交通省、海上保安庁、消防庁及び水産庁の後援を得て、全国的な募金活動を展開した。

その結果、本会では25,694,756円(19,565,271円)の寄附金を得て、水難救済にかかる各種事業に活用するとともに、青い羽根募金用ポスター等の作成及び地方組織による募金活動に対する支援等の事業を実施した。

さらに、民間企業等の協力のもと青い羽根募金支援自動販売機の増設に努めた。

事業費総額 28,736,139円(35,022,161円)

6 救難所員等の扶助・補償等に関する事業

公益財団法人日本財団からの助成金を受け、海難救助作業（海難救助訓練を含む。）において救難所員に災害が発生した場合などに、本人等に対し災害補償を行うための事業及び賞じゅつ金等を贈与する事業を実施しているが、令和7年度は、対象事案はなかった。

事業費総額 3,477,724円(3,241,471円)

7 その他

令和7年度において、各事業の活性化を促すため、次の活動を実施した。

(1) 組織基盤の強化

組織基盤の強化等を図るため、二号正会員、賛助会員の積極勧誘を行い、令和7年度において、新たに賛助会員8(4)者が加入した。

(2) 日本水難救済会の主な職務執行状況

別紙のとおり

令和7年度における日本水難救済会の職務執行状況

○第133回 定時社員総会 臨時理事会(6月12日@海運ビル)

第133回定時社員総会(瀬口海上保安庁長官臨席)、臨時理事会を開催。
新たに、二木春美氏、細川秀一氏、久保田八十夫氏、山田智昭氏、羽柴悟氏、牧島かれん氏が理事に就任。



○令和7年度名誉総裁表彰式典(6月12日@海運ビル)

名誉総裁:高円宮妃殿下、中野国土交通大臣、瀬口海上保安庁長官等臨席のうえ実施。海難救助功勞(団体)3件、洋上救急功勞(団体)1件、事業功勞(個人)3件



○高円宮妃殿下、承子女王殿下石川県お成り(7月1日@能登)

高円宮妃殿下、承子女王殿下が、能登半島地震災害で被災した能登水難救済会会員を見舞われ、被災～復興状況をご視察。支援活動を行った「巡視船のと」ご慰労。



○洋上救急関連業務

・中央洋上救急支援協議会第40回通常総会(7月10日@海運ビル)

瀬口海上保安庁長官等臨席のうえ実施。日本医科大学付属病院横堀医師による講演実施。会長表彰:個人1件(東海大学付属八王子病院中川副院長)



・令和7年度中央洋上救急訓練(1月13日@羽田航空基地)

医療関係者等約50人が参加し、実働に備えた訓練を実施。今回は、対馬沖のドクターヘリの事故を踏まえ、シートベルト着脱等の脱出要領訓練を実施。昨年度に引き続き、救急救命士間の意見交換会も実施。



・令和7年度中央洋上救急研修会(1月29日、30日@海事センタービル)

最近の洋上救急をめぐる動き、洋上救急事例についての講演、質疑応答実施。



○「海のそなえプロジェクト」関連業務

令和6年6月から実施中(3年計画)。当会は、水難予防の指導・啓発を行う人材の育成のあり方等について、常務理事等による「海の安全教室」を通じた実態調査などを行い、検討実施中。令和7年度における業務実施状況は、別添のとおり。

○青い羽根関連業務

・青い羽根募金強調運動期間、瀬口海上保安庁長官等表敬(7月11日)

ミス日本「海の日」とともに瀬口海上保安庁長官、消防庁長官、水産庁長官等を表敬。全閣僚に青い羽根着用依頼。総理官邸に青い羽根募金設置依頼。



(関東周辺における主な募金活動)

・第76回東京みなと祭(6月1日@東京国際クルーズターミナル)

by 日本海洋少年団東京地区連盟



・横浜開港祭ザ・ブルスクруз(6月1日@横浜みなとみらいホール)

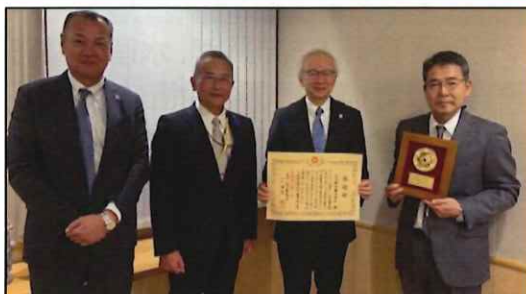
by 神奈川県水難救済会

・ボーイスカウト埼玉県連盟さいたま北地区さいたま第10団(7月13日@大宮駅)

・海上保安庁音楽隊定期演奏会(10月27日)



・青い羽根募金功労者への会長感謝状贈呈(個人9名、団体27件)



五洋建設株式会社



航空自衛隊入間基地

・金刀比羅宮境内への青い羽根支援自販機設置(11月6日)



・長崎総合科学大学構内への青い羽根支援自販機設置(11月7日)

教育機関として全国初の設置。



○水難救済会知名度向上のための講演

・経済同友会 同友二木会での講演

(4月17日@東京都内:理事長)

・浩志談論会での講演

(5月21日@東京都内:理事長)

・日本体育大学救急医療学科「海上保安庁の救急搬送業務」講義

(6月10日@日体大健志台キャンパス:理事長)

・海上保安庁教育機関、幹部研修での講演

(7月22日、10月20日、1月26日部課長任用前研修@海保大:理事長)

(9月18日海上保安学校現地赴任前学生への講演@海保校:常務理事)

(11月28日海上保安大学校現地赴任前学生への講演@海保大:理事長)



・日本大学危機管理学部での講義

(9月25日～7年1月22日まで毎週木曜日合計15コマ実施:理事長)

○海上自衛隊岩国基地への挨拶(11月17日)

洋上救急に飛行艇(US-2)を派遣し協力いただいている件についてお礼を述べ、情報共有を図る。(第六管区海上保安本部長同行)



○韓国海洋警察庁職員への水難予防セミナー(12月17日～19日@東京、神奈川)

来日した韓国海洋警察庁職員に対し、水難事故防止セミナーを実施。日本の民間救助体制、洋上救急等について説明実施。また、神奈川県水難救済会において、現場実務の実態について説明実施。



○令和7年度神奈川県水難救済会東部地区水難救助訓練(1月7日@横須賀)

牧島かれん会長はじめ、10救難所から約200名の所員が参加。



○メディア対応状況

各メディアから多くの取材を受け、当会の知名度向上、水難救済思想普及に努める。(テレビ:57件、新聞:26件、ラジオ:4件、雑誌等:3件)



水難事故防止対策、洋上救急、海難事故解説 等

令和7年度における「海のそなえプロジェクト」関連業務

(別添)

○第2回海のそなえプロジェクトシンポジウム

5月22日@Tokyo FMホール

主催：うみらい環境財団、協力：河川財団、
共済：日本財団、日本ライフセービング協会、
日本水難救済会

「危険を知り、命を守る。溺れないための教育について」というテーマでのパネルディスカッションで、当会理事長が登壇、水難予防教育を行う人材育成の重要性について発言を行った。



○第1回海の安全教室指導者等講習会

5月21日～23日@海事センタービル会議室
全国から約40名の指導者を招き、初となる講習会を開催した。

元・金メダリストの岩崎恭子氏（日本水泳連盟生涯スポーツ・環境委員長）等の部外講師を招いての講演や、水難予防教育のための情報共有、意見交換を実施した。



○講習会、実技指導：のべ20か所で実施

・千代田区立九段中等教育学校での講習会

5月28日、7月31日：合計1～5年生
のべ約1,000人

・海上保安庁安全講習指導者研修会

6月11日：全国の管区本部指導者：約20人@横浜海上防災基地

・愛知県蒲郡市での安全講習会①（一般財団法人海みなと蒲郡）

6月18日：小学6年生約60人 @蒲郡市ラグシア園内プール

・大阪市立田辺小学校での安全講習会①

6月19日：小学生2年、4年、6年 約350人

・愛知県蒲郡市での安全講習会②（一般財団法人海みなと蒲郡）

6月25日：小学6年生約60人 @蒲郡市ラグシア園内プール

・大阪市立田辺小学校での安全講習会②

7月2日：教職員 約50人

・静岡県三島市向山小学校での安全講習会

7月8日、11日 4年生、6年生 約170人

・京都府木津川市立恭仁・加茂・南加茂台小学校安全講習会

7月16日 両校児童約70名 教職員・保護者20名

・都立練馬高校安全講習会 7月17日 全校生徒約750人

・千代田区番町小学校安全講習会 7月18日 6年生48名

・愛媛県北条鹿島にぎわいまつりでの安全講習会

7月21日 児童生徒・保護者約40名 @鹿島海水浴場

・麴町幼稚園 7月14日 園児約20名、保護者約10人

・そらいろ保育園 7月22日 園児約40名

・にじのそら保育園 7月25日 園児約30名

・海そなえハウス安全講習会 7月12日、26日、8月9日 @三浦海岸海水浴場

・新潟県水難救済会「海の安全教室」8月3日

@胎内B & G艇庫

・東京都白金商店街安全講習会 8月3日@白金商店街

・昴保育園安全講習会(横浜市) 8月4日 園児約50名

・昌平幼稚園安全講習会（千代田区外神田）8月6日 園児約30名

・麴町小学校安全講習会 9月2日 6年生101名



○意見交換会等

・千代田区教育委員会、東村山市教育委員会

○普及活動のためのコンテンツ作成

- ・講習会教本の作成
- ・園児講習会用紙芝居、おやくそく作成
- ・児童生徒講習会用動画作成
- ・浮力を有する機能的なウェアの開発・作成（そなえハウスで展示・試供）
- ・「イカ体操」動画作成



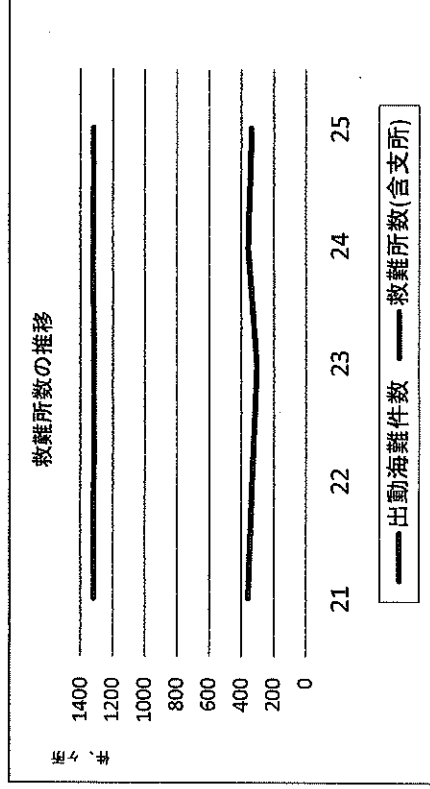
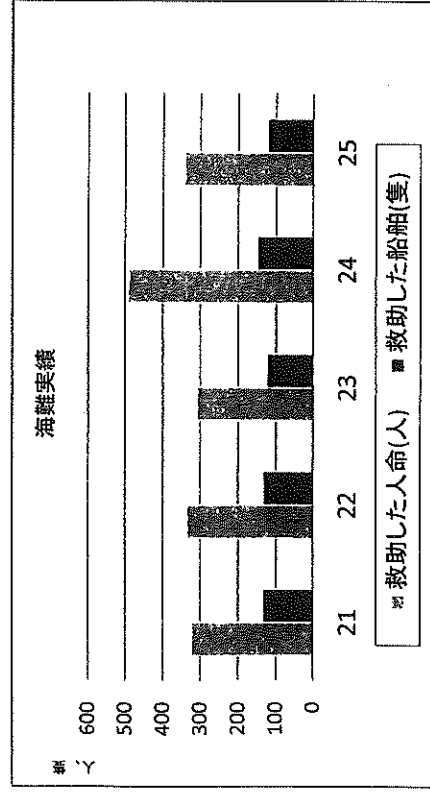
附 属 明 細 書 1

海難救助及び出動実績総括表

自 令7年01月01日
至 令7年12月31日

(単位：名、隻、総トン、千円)

救助区分		救助船舶			救助内容			救助所			協力		
		隻数	総トン数	船体積荷見積価格	救助	不救助他	計	救助所員	救助船舶	協力者	協力船舶	協力者	協力船舶
要救助出動 船舶海難	一般船舶	6	22.10	1,250	0	1,250	0	6	25	11	0	0	0
	漁船	50	159.61	47,148	100	47,248	44	65	1,062	420	151	30	30
	プレジャーボート	98	113.67	56,777	10	56,787	81	92	433	184	40	12	12
	その他	1	0.00	0	0	0	1	2	4	3	0	0	0
	船舶海難 計	155	295.38	105,175	110	105,285	132	165	1,524	618	191	42	42
人身事故	船上より落水(漁船・その他)	3					5	9	80	48	151	20	20
	陸岸より落水	16					20	45	247	80	32	3	3
	遊泳中	22					20	27	138	31	12	2	2
	潜水中	3					3	6	34	6	0	0	0
	サーフィン	4					9	12	53	10	0	0	0
	ボードセーリング	2					2	3	7	5	0	0	0
	水上オートバイ							0					
	孤立	7					5	5	17	5	2	0	0
	負傷	4					6	6	10	5	0	1	1
	病氣	1					2	2	7	4	1	0	0
	その他	17					14	38	244	49	106	13	13
	人身事故 計	79					86	153	837	243	304	39	39
災害対応	緊急物資輸送							0					
	被災者輸送							0					
	救援要員輸送							0					
	その他							0					
災害対応 計		0					0	0	0	0	0	0	0
合 計		155	295.38	105,175	110	105,285	218	318	2,361	861	495	81	81



附 属 明 細 書 2

救難所別海難救助実績

自 令和07年01月01日

至 令和07年12月31日

(単位: 名、隻、トン、千円、回)

水難救済会	救助区分 救難所	救助人命	救助船舶							救助内容						
			被救助船				総トン数	船体積荷見積価格			出動海難件数			救難所		協力
			隻数	一般船舶	漁船	プレジャー その他		船体	積荷	計	救助	不救助他	計	救難所員	救助船舶	
北海道	余市	8									3		3	10	8	
	泊										1		1	8	2	
	松前	7	2	1	1		1.00				2	1	3	14	2	1
	八雲	2	1			1	4.00				1		1	4	2	3
	伊達	7	1			1	0.70	200		200	1		1	1	1	2
	庶野											1	1	34	2	
	落石										1		1	7	3	1
	湧別											1	1	34	13	24
	雄武	1									1		1	3		2
	宗谷	1	1		1		4.90	18,100		18,100	1		1	5	1	9
	羽幌	6	1		1		14.00	7,630	100	7,730	1		1	51	11	42
	天売													10	3	2
	苫前	3										1	1	25	13	53
	小平											1	1	5		
	北海道計	35	6	1	3	2	24.60	25,930	100	26,030	12	5	17	211	61	139
青森県	平内町	3	1			1	3.18				1		1	6	3	
	泊		1		1							1	1	209	17	6
	三厩	1	1			1	0.90				1		1	1	1	
	青森県計	4	3		1	2	4.08				2	1	3	216	21	6
岩手県	久慈地区	1									1		1	4	1	
	宮古	1									1		1	1	1	1
	岩手県計	2									2		2	5	2	1
宮城県	雄勝	2	1			1					1		1	2	1	
	寄磯	2									1		1	9	1	2
	宮城県計	4	1			1					2		2	11	2	2
福島県	勿来	1	1			1					1		1	3	1	
	福島県計	1	1			1					1		1	3	1	
秋田県	北浦	1	1		1		1.73				1		1	2	2	
	秋田県計	1	1		1		1.73				1		1	2	2	
山形県	酒田										1		1	3	2	
	袖浦													2		
	加茂											1	1	4	1	
	由良	1									1		1	4	1	1

救 難 所 別 海 難 救 助 実 績

自 令和07年01月01日
至 令和07年12月31日

(単位：名、隻、トン、千円、回)

水難救済会	救助区分 救難所	救助人命	救助船舶									(単位：名、隻、トン、千円、回)							
			隻 数	被救助船				総トン数	船体積荷見積価格			出動海難件数			救 助 内 容				
				一 般 船 舶	漁 船	プ レ ジ ャ ー	そ の 他		船 体	積 荷	計	救 助	不 救 助 他	計	救 難 所 員	救 助 船 舶	協 力 者	協 力 船	
	豊浦	1	1		1			0.70					1		1	2	2		
	温海													1	1	13	4		
	山形県計	2	1		1			0.70					3	2	5	28	10	1	1
茨城県	大津支部															7	15		14
	大洗支部	1											1		1	5	1		
	茨城県計	1											1		1	12	16		14
千葉県	銚子市													1	1	10	15		
	九十九里町												5		5	26			
	夷隅東部	3	1		1			8.50	1,350		1,350	1		1	8				
	鴨川													2	2	43	14	6	
	東安房															14	5		
	新勝浦市		1		1									1	1	19	4	2	
	長生郡広域	1											8	5	13	81	3		
	富津岬PW	6	1			1			300		300	2		2	8	2	3		
	千葉県計	10	3		2	1		8.50	1,650		1,650	16	9	25	209	43	11		
神奈川県	長井	2	1			1							1		1	2	2	2	
	佐島	1	1			1		1.00					1		1	3	3	2	
	小田原												1	2	3	5	3		
	真鶴	1											1		1	2	1		
	平塚	3											1		1	3	3		
	葉山												2	2	4	4	4		
	茅ヶ崎	4											3		3	14	3		
	鎌倉	1											1		1	2			
	神奈川県計	12	2			2		1.00					11	4	15	35	19	4	
伊豆地区	大熱海															12	9		
	初島													1	1	5	1		
	伊東	2											1		1	19	7		
	稲取													1	1	3	1		
	下田	12											1		1	8	1		
	伊豆地区計	14											2	2	4	47	19		
静岡地区	清水													1	1	1	1		
	I C S	1	1		1								1	1	2	11	7		1
	焼津												1		1	1	1		

救 難 所 別 海 難 救 助 実 績

自 令和07年01月01日
至 令和07年12月31日

(単位: 名、隻、トン、千円、回)

水難救済会	救助区分 救難所	救助人命	救助船舶							救 助 内 容							
			被救助船				総トン数	船体積荷見積価格			出動海難件数			救 難 所		協 力	
			隻 数	一 般 船 船	漁 船	プレ ジャー ー	そ の 他	船 体	積 荷	計	救 助	不 救 助 他	計	救 難 所 員	救 助 船 船	協 力 者	協 力 船
	静岡広域DRS	3									5	6	11	38	2	2	
	静岡地区計	4	1		1						7	8	15	51	11	2	1
愛知県	伊勢湾東部地区 海難救助連	1									1		1	1	1		
	三河湾東部地区	3	1			1					2		2	5	2		
	愛知県計	4	1			1					3		3	6	3		
三重県	鳥羽・伊勢地区 海難救助連絡										1	1	2	62	4		2
	志摩度会地区 海難救助連絡											1	1	12	4		
	紀南地区海難 救助連絡協議	2									2	2	4	12	7		
	熊野灘地区海 難救助連絡協	1	1			1					1		1	1	1		
	三重県計	3	1			1					4	4	8	87	16		2
和歌山県	和 海	2	1			1		2.60			2		2	6	2		
	紀南西部											1	1	23	10		
	熊野灘	1									1		1	2			1
	和歌山県計	3	1			1		2.60			3	1	4	31	12		1
兵庫県	沼 島	1									1		1	14			1
	香 住											1	1	4	1	4	
	竹 野	3									2	2	4	12	5		
	淡路市東海岸										1		1	46	22		
	兵庫県計	4									4	3	7	76	28	4	1
徳島県	鳴 門										1		1	4	2		
	阿 南	21	1			1		5.70			1	1	2	128	22		
	海 部	3									3		3	5	3		
	徳島県計	24	1			1		5.70			5	1	6	137	27		
高知県	室 戸	3	1		1						2		2	4	2	7	
	宇 佐	1	2		2			9.10			1	1	2	6	2		
	幡 東											2	2	4	4	1	
	高 幡		1		1							1	1	2	1		
	高知県計	4	4		4			9.10			3	4	7	16	9	8	
岡山県	岡山山マリン ポートセン										1	1	2	8	2		
	牛窓町漁業協 同組合	5	2			2		18.00			4		4	11	7	3	
	岡山県計	5	2			2		18.00			5	1	6	19	9	3	
山口県	川 尻											1	1	8	6		
	グリーンヤマ トマリーナ	2	1			1					1		1	2	1		

救 難 所 別 海 難 救 助 実 績

自 令和07年01月01日
至 令和07年12月31日

(単位: 名、隻、トン、千円、回)

水難救済会	救助区分 救難所	救助人命	救助船舶							救 助 内 容							
			被救助船				総トン数	船体積荷見積価格			出動海難件数			救 難 所		協 力	
			隻 数	一 般 船 舶	漁 船	プ レ ジ ヤ ー		船 体	積 荷	計	救 助	不 救 助 他	計	救 難 所 員	救 助 船 舶	協 力 者	協 力 船
	田代工業		1		1									1	1		
	大浦	2									1	1	2	4	2		
	久津	7	1		1		6.40				1		1	1	1		
	津黄													3	1		
	奈古		1			1					1		1	1			1
	豊浦										1		1	4	2		
	下関安岡		1			1	2.50				1		1	3	2		
	新宇部	1	1		1		4.89				1		1	41	24		
	黄波戸	2	1			1		80		80	2		2	4	1		
	江崎										1		1	1	1		
	光										1		1	4	4		
	岩柳地区岩国市		1		1									6	5		
	岩柳地区柱島		1		1							1	1	6	6		
	屋代島東部東和町		1		1									50	36		
	屋代島西部安下庄		1		1									14	13		
	周南		1		1							1	1	20	13		
	豊浦統括										1	1	2	7	2		
	山口県計	14	12		8	4	13.79	80		80	12	5	17	180	121		1
香川県	庵治	2	1		1		4.90	4,300		4,300	1		1	12	5		
	内海	1	2		1	1	1.10				2		2	6	2		
	鴨庄	1	1		1		2.10				1		1	3	2		
	香川県計	4	4		3	1	8.10	4,300		4,300	4		4	21	9		
福岡県	芦屋		1			1	4.00	7		7	1		1	1	1		
	神湊	1									1		1	3	1		
	津屋崎										1		1	2	2		
	西浦	2	1			1	4.19				1		1	15	2	4	
	野北											1	1	5	1		
	船越		1			1						2	2	21	11		
	加布里	5	1	1			6.60				1		1	8	4		
	深江													2	1		
	福吉	7	2	1	1		7.30				2		2	22	9		
	長浜	2	1		1		3.60				1		1	1	1		
	藍島		1		1		19.00				1		1	2	2	1	1

救難所別海難救助実績

自 令和07年01月01日
至 令和07年12月31日

(単位：名、隻、トン、千円、回)

水難救済会	救助区分 救難所	救助人命 数	救助船舶							救助内容							
			被救助船				総トン数	船体積荷見積価格			出動海難件数			救難所		協力	
			隻数	一般船舶	漁船	プレジャー その他		船体	積荷	計	救助	不救助他	計	救難所員	救助船舶	協力者	協力船
	岐志新町	3	2			2	4.00				2		2	6	3		
	岩屋	3									3		3	6	1		1
	大岳	3	2			2		2,000		2,000	2		2	3	2		
	福岡県計	26	12	2	3	7	48.69	2,007		2,007	16	3	19	97	41	5	2
佐賀県	玄海上地区	3	1			1					1	1	2	19	11	4	
	玄海中地区	3	1		1		4.98				2		2	8	3		
	玄海下地区	3	2			2	7.30	3,600		3,600	2		2	4	2		
	伊万里マリン	2	1			1	0.40	100		100	1		1	2	1		
	佐賀県計	11	5		1	4	12.68	3,700		3,700	6	1	7	33	17	4	
長崎県	稲佐	8	2		1	1	5.60	210		210	4		4	12	4		
	三重	6	4		1	3	7.60	50		50	3		3	7	3		
	野母崎	16	11	2	7	2	23.91	15,750		15,750	11	1	12	57	14		
	豊玉町										1		1	2	1	1	
	厳原										1		1	1	1		
	美津島町										1		1	5	2	1	1
	石田	1	1			1	10.00	20,000		20,000	1		1	1	1		
	有川町有川	1	1		1		1.17	18		18	1		1	4	2		
	浜串	2									1	1	2	5	1		
	五島ふくえ	2	1		1		1.20	150		150	1		1	1	1		
	鷹島	2	1			1	2.40	3,600		3,600				1	1		
	平戸	5	1		1		9.10				1		1	8	2		
	志々伎	5	1		1		9.10				1		1	21	7		
	九十九島											1	1	14	14	148	19
	小値賀町	2	1		1		3.80				2		2	31	16		
	佐世保市南部											1	1	3	2		
	大島村											1	1	22	14	2	2
	瀬川											1	1	2	1		
	九十九島パールシーリゾート	6	2			2	4.20				1		1	1	1		
	口之津	5	1	1			4.90				1		1	1	1		
	大瀬戸町										1		1	38	25		
	長崎県計	61	27	3	14	10	82.98	39,778		39,778	32	6	38	237	114	152	22
大分県	津久見	1									1		1	1	1		
	大分県計	1									1		1	1	1		

救 難 所 別 海 難 救 助 実 績

自 令和07年01月01日
至 令和07年12月31日

(単位：名、隻、トン、千円、回)

水難救済会	救助区分 救難所	救助人命	救助船舶								救助内容							
			隻数	被救助船				総トン数	船体積荷見積価格			出動海難件数			救難所		協力	
				一般船舶	漁船	プレジャー その他	船体		積荷	計	救助	不救助他	計	救難所員	救助船舶	協力者	協力船	
京都府	マリンレスキュー網野											3	1	4	4	2		
	久美浜	15	32			32						2		2	5	4		
	宮津・与謝	6	1			1	0.10	30	10	40	2		2	4	3	1		
	京都府計	21	33			33	0.10	30	10	40	7	1	8	13	9	1		
福井県	高浜水難	4	1			1	1.50				1	1	2	4	2			
	敦賀市水難	4	2			2					2		2	2	2			
	越前町水難		1		1							1	1	16	14			
	若狭町水難	2	1			1					2		2	4	1			
	福井県計	10	5		1	4	1.50				5	2	7	26	19			
島根県	恵曇										1		1	4	1			
	出雲	2	1			1					2	3	5	28	6	2	3	
	大田										1		1	1	1			
	島根県計	2	1			1					4	3	7	33	8	2	3	
新潟県	粟島											1	1	13				
	山北	1	1			1					1		1	3	1			
	新潟	5	1				1							1	1			
	出雲崎										1		1	5	1			
	直江津	14	1			1	9.70				1		1	5	3	3		
	両津											1	1	20	10	21	4	
	新潟マリン										1		1	2	1			
	聖籠	4	1			1					1		1	2	1			
	新潟県計	24	4			3	9.70				5	2	7	51	18	24	4	
富山県	魚津											4	4	32				
	富山	2									1	3	4	48	1			
	新湊	1									1		1	9				
	富山県計	3									2	7	9	89	1			
石川県西部	羽咋滝港マリーナ	1	1			1	2.70	5,000		5,000	1		1	3	1			
	加賀	1	1			1	3.40				1		1	1	1			
	石川県西部計	2	2			2	6.10	5,000		5,000	2		2	4	2			
鹿児島県	知名											1	1	1	1			
	和泊	1									1	1	2	15	8	103	12	
	薩摩川内市里	2	1		1		2.50	700		700	2		2	12	10			
	薩摩川内市下甕													1	1			

救 難 所 別 海 難 救 助 実 績

自 令和07年01月01日
至 令和07年12月31日

(単位：名、隻、トン、千円、回)

水難救済会	救助区分 救難所	救助人命	救助船舶									救助内容							
			隻 数	被救助船				総トン数	船体積荷見積価格			出動海難件数			救難所		協力		
				一般 船舶	漁 船	プ レ ジ ャ ー	その他		船 体	積 荷	計	救 助	不 救 助 他	計	救 難 所 員	救 助 船 舶	協 力 者	協 力 船	
	天城												1	1	9	8	17	5	
	薩摩川内市上甕											1		1	1	1			
	阿久根市		1		1							1	2	3	45	23			
	いちき串木野												1	1	6	2			
	薩摩川内市鹿島														8	3			
	大和												1	1	7	4			
	指宿市	5	1			1		4.90				1		1	1	1			
	十島村	3	1		1			1.20				1	1	2	39	5			
	肝付町	1										1		1	1	1			
	枕崎	2	1			1			1,800		1,800	1		1	1	1			
	南さつま市	1										1	1	2	4	2			
	志布志市	2	1			1		4.20				1		1	7	5			
	鹿児島県計	17	6		3	3		12.80	2,500		2,500	11	9	20	158	76	120	17	
宮崎県	川南町漁業協同組合												1	1	1	1			
	南郷漁業協同組合												1	1	1	1			
	宮崎県計												2	2	2	2			
琉球	国頭	2	1			1						1	2	3	8	6			
	今帰仁												1	1	1	1	1		
	オクマ	3										1		1	2	2			
	かりゆしビーチ												1	1	3	3			
	一般社団法人恩納村マリン	2										1		1	2				
	ハレクラニ沖縄	1										1		1	3	2			
	読谷	7	1			1		1.50				1		1	2	1			
	アラハビーチ	4	1			1						1		1	2	1			
	トロピカルビーチ												1	1	2	2			
	宜野湾マリーナ	2	1			1		5.60	17,000		17,000	1		1	2			1	
	沖縄ライフセービング協	9										7		7	10	1			
	那覇沿岸											1		1	3	2			
	糸満												1	1	4	2			
	豊崎海浜公園												1	1	1	1			
	南大東		1			1									37	19			
	北大東		1			1							1	1	11	7			
	与那城												1	1	3	1			

救 難 所 別 海 難 救 助 実 績

自 令和07年01月01日
至 令和07年12月31日

(単位：名、隻、トン、千円、回)

水難救済会	救助区分 救難所	救助人命	救助船舶									救 助 内 容							
			隻 数	被救助船				総トン数	船体積荷見積価格			出動海難件数			救 難 所		協 力		
				一 般 船 舶	漁 船	プ レ ジ ャ ー	そ の 他		船 体	積 荷	計	救 助	不 救 助 他	計	救 難 所 員	救 助 船 舶	協 力 者	協 力 船	
	与那原西原		1		1							1	1	2	24	21			
	佐敷中城		1		1										1	1			
	宮古島	7	3			3		1.60	1,450		1,450	2		2	5	3		1	
	池間	16	1		1			7.90				1		1	2	2	4		
	宮古島東急ホ テル&リゾー	7	2			2		1.40	1,450		1,450	1		1	4	2			
	ブリーズベイ マリーナ	2										2	1	3	9	1			
	八重山	1	1		1			4.93	300		300	2	1	3	64	31	1		
	フサキビーチ												1	1	4				
	西表上原	1											1	1	5				
	琉球計	64	15		4	11		22.93	20,200		20,200	24	14	38	214	112	6	2	
	総合計	397	155	6	50	98	1	295.38	105,175	110	105,285	218	100	318	2,361	861	495	81	